

地元の味！ くらしを大切にする店



主婦の店

## 赤穂民報

発行所

赤穂民報社

赤穂市加里屋町前58-18

TEL 43-1886

FAX 46-2626

編集人 広島秀紀

設計、住宅、お店、不動産

木の家おきに入りのくらし

アーバンハウス株式会社



地元の味！ くらしを大切にする店

主婦の店

赤穂民報

アーバンハウス株式会社

赤穂市議会第一回定例会は16日、本会議を開き、牟礼正稔市長が2021年度の施政方針を発表。「市制施行70周年を迎える記念すべき節目の年。新総合計画がスタートし、今後10年間の基礎が築かれる最初の年でもある」と位置付け、「ヴィズコロナ、ボストコナの新時代をしっかりと見据え、『はばたけ未来へ』赤穂が実感できる魅力あるまちづくりに手力を尽す」と決意を表明した。

2021年から10年間の市政運営指針となる「2030赤穂市総合計画」に掲げた(1)安

ちづくり(2)快適自然環境と都市環境が

心「誰もが健やかに暮

らせる安心と安全のま

ちづくり(3)元気「産

今年4月の任期満了に伴う赤穂市議会議員選挙へ向け、看護師の南條千鶴子(なんじょう ちづこ)さん(62)は片浜町(かたはまちょう)が公明党認定の新人で立候補を表明。このほど赤穂民報に「看護師をしながら暮らしでの困りごとを相談されることが多く、公明党の市会議員と一緒に課題解決役に立てるなら決意しました。一生懸命取り組みました。」と語った。

「今年1月に党から決断した時期は

「今年1月に党から

決断した時期は

「今年1月に党から

